令和 7 年度　　新 規 採 択 希 望

県営かんがい排水事業(保全合理化型)

県営土地改良事業計画書

(農業用用排水施設整備)

県　　名　岐　阜　県

地 区 名　政 田 用 水

事 業 主 体　岐　阜　県

目　　次

第１章　目　的 ---------- 1

第２章　地域及び地積 ---------- 1
　第１節　地　域 ---------- 1
　第２節　地　積 ---------- 1

第３章　現　況 ---------- 2
　第１節　気象及び海象 ---------- 2
　　１．一般気象 ---------- 2
　　２．特殊気象 ---------- 2
　第２節　土地状況 ---------- 3
　　１．土地、土壌 ---------- 3
　　２．土地利用の状況 ---------- 4
　　３．土地所有の状況 ---------- 4
　第３節　水利状況 ---------- 5
　　１．用水状況 ---------- 5
　　２．排水状況 ---------- 6
　第４節　道路現況 ---------- 6
　第５節　地域農業の概況 ---------- 7
　　１．産業別就業人口 ---------- 7
　　２．経営耕地広狭別農家数及び主副業別農家数 ------ 8
　　３．動力農機具及び主要家畜頭数 ---------- 8
　　４．主要作物作付状況 ---------- 9
　　５．農業の動向 ---------- 10
　第６節　地域環境の概況 ---------- 10

第４章　一般計画 ---------- 11
　第１節　事業計画の要旨 ---------- 11
　　１．要　旨 ---------- 11
　　２．事業別面積 ---------- 11
　第２節　営農計画及び土地利用計画 ---------- 12
　　１．営農計画の概要 ---------- 12
　　２．土地利用区分 ---------- 12
　　３．作付方式 ---------- 12
　　４．生産計画 ---------- 13
　第３節　用水計画 ---------- 14
　　１．計画基準年 ---------- 14
　　２．計画かんがい方式 ---------- 14
　　３．計画用水系統 ---------- 14
　　４．計画用水量 ---------- 15
　　５．水源計画 ---------- 16
　第４節　排水計画 ---------- 17

第５章　主要工事計画 ---------- 18
　第１節　用水施設 ---------- 18
　　１．貯水池 ---------- 18
　　２．頭首工 ---------- 18
　第２節　排水施設 ---------- 18

第６章　附帯工事計画 ---------- 19

第７章　工事の着手及び完了の予定時期 ---------- 19

第８章　環境との調和への配慮 ---------- 19

第９章　換地計画の概要 ---------- 19

第１０章　事業費の総額及び内訳 ---------- 20

第１１章　効　用 ---------- 21

第１２章　関連する事業 ---------- 21

第１３章　現況・計画図面 ---------- 21

第１章　　目　　的

本地区は、根尾川左岸に位置する本巣市と瑞穂市の両市に跨がる受益区域約170haに対する幹線用水路として整備された用水である。受益地内では、水稲をはじめとして、麦や飼料用米などを作付するとともに、中心経営体の育成、それら担い手への農地集積・集約化を図っている。

本用水は、取水部の転倒堰において油圧ユニットからの油漏れの発生やピット内の浸水、サイフォンや本線ゲート開閉の不具合などが確認されている。また、除塵機や、水路沿いのフェンスについても老朽化による不具合が確認されており、安定した用水管理や水路への転落事故発生が危惧される状況にある。

よって、本事業において、これらの設備に対する整備を実施することで、設備の継続的な稼動を維持するとともに、安定した用水供給体制、安全な水路利用の確保を図るものとする。

第２章　　地域及び地積

第１節　地域

（第１表）

事　　業　　名	地　　域	備　　考
農業用用排水施設整備	岐阜県　本巣市、瑞穂市、揖斐郡大野町	

第2節　地積

R　6 年　10 月現在　　（第２表）

事　業　名	現況地目 / 市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	(ha)	小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	(ha)	(ha)	計 (ha)
農業用用排水施設整備	本　巣　市	79.1	3.5		82.6						82.6
	瑞　穂　市	49.3	6.1		55.4						55.4
	計	128.4	9.6		138.0						138.0

備　　考			
不可避受益を含めた面積（ha）			
	田	畑	計
本巣市	94.6	3.5	98.1
瑞穂市	64.7	6.1	70.8
計	159.3	9.6	168.9
この事業計画書に記載の面積は、農地台帳面積となる。			

注）１．「地積」は土地登記簿地積（畦畔地積含む）。なお、換地計画を伴う事業は実測（図上）。単位は県営事業の場合、小数点以下四捨五入。団体営事業の場合、小数点以下２位四捨五入。

２．「合計」欄は二以上の土地改良事業の重複面積がある場合の実面積（以下各章同じ）。

第３章　　現　　況

第１節　気象及び海象

１．　一般気象

（第３表－１）

観測所名	揖　斐　川	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備　　考
観測期間	H3　年～　R2　年	6 月 ～ 9 月	10 月 ～ 5 月		
平均気温（℃）		25.1	10.7	15.5	参照：気象庁HP
降水量	平　均（mm）	1,208.3	1,306.6	2,514.9	参照：気象庁HP
	基準年（mm）				
降水日数	平　均（日）	51.0	87.9	138.9	参照：気象庁HP
	基準年（日）				
根雪期間		－ ～ －		（　－　日間）	
無霜期間		－ ～ －		（　－　日間）	
最多風向		北西	最大風速（風向）	32.4　m/s（東南東）	最多風向発生時期　1月～12月 最大風速発生年月日　H30.9.4

２．　特殊気象

（第３表－２）

観測所名		第１位			第２位			第３位			第４位			第５位			備　考
揖斐川																	
観測期間		数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
S51　年～　R6　年																	
最大日雨量	(mm)	354.0	H14.7.10	1/160	330.0	S61.6.17	1/94	258.0	H12.9.11	1/19	255.5	H24.9.18	1/18	222.0	S61.8.22	1/9	参照：気象庁HP
最大時間雨量	(mm)	96.0	H14.7.10		81.0	H20.9.2		78.5	H24.9.18		73.5	H20.8.6		70.0	R5.8.16		参照：気象庁HP
最大４時間雨量	(mm)																
最大連続雨量	(mm)																
最大連続干天日数	(日)																

第２節　土地状況

１．　地形、土壌

（第４表－１－１）

事業名	地目	田						畑・その他								受益地標高		備考
	傾斜区分	1/1000 以下	1/1000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 ～ 以上	計	3° 以下	3° ～ 8°	8° ～ 15°			15° ～ 20°	20° 以上	計	最高 (m)	最低 (m)	
										8° ～ 10°	10° ～ 15°	8° ～ 15°						
農業用用排水施設整備	面積（ha）		159.3				159.3	9.6							9.6	17	9	
	比率（%）		100				100	100							100			

注）「畑・その他」欄は開畑に係る傾斜が８°～１５°の場合８°～１０°、１０°～１５°に区分。既耕地を対象とする事業は８°～１５°。

面積は不可避受益を含めた面積

（第４表－１－２）

項目 ＼ 土壌統(区)名	土壌統（区）区分一覧表										面積（ha）				備考
	土壌断面										事業名				
	土性								堆積様式	母材	農業用用排水施設整備			合計	
	色	腐植	礫層	酸化沈殿物	表土 一層	下層土 二層	下層土 三層	泥炭層黒泥層グライ層							
グライ土壌 粘土型	灰色 灰-青灰	無	無	膜含 膜富	CL	CL	CL	55cm以下グライ層	水積	非固結水成岩	168.9			168.9	E42
計											168.9			168.9	

注）「土壌統（区）名」欄は水田にあっては施肥改善事業における土壌区、畑・未墾地にあっては地力保全事業における土壌統。

面積は不可避受益を含めた面積

土壌は、代表土壌を表記

２．　土地利用の状況　　R 6 年 10 月現在（第４表－３）

事業名	土地利用区分 / 市町村名	耕地							採草放牧地 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶畑 (ha)	その他の果樹園 (ha)	小計 (ha)						
農業用用排水施設整備	本巣市	79.1	3.5					82.6					82.6	
	瑞穂市	49.3	6.1					55.4					55.4	
	計	128.4	9.6					138.0					138.0	
合計		128.4	9.6					138.0					138.0	

注）「団体営事業の土地利用状況」は、灌漑排水、圃場整備のうち用水源、排水ポンプを設置する場合。　　面積は不可避受益を含まない面積

３．　土地所有の状況　　（第４表－４）

事業名	区分 / 所有別	個人有			共有			法人有			計	備考
農業用用排水施設整備	面積(農地台帳) (ha)	138.0									138.0	面積は不可避受益を含まない面積 この事業計画書に記載の面積は、農地台帳面積となる。 関係戸数：組合員数
	関係戸数 (戸)	543									543	
	筆数 (筆)	1,415									1,415	
	権利関係				所有権	賃貸借権	使用貸借権	所有権	賃貸借権	使用貸借権		
	備考（受益者数）											

注）「団体営事業」土地所有状況は、農地開発事業の場合。

第３節　水利状況

１．　用水状況

本地区の用水は、大野町に位置する一級河川の三水川から取水している。取水後の用水は、当該用水の導水路を流下し、根尾川をサイフォンで横断したのち、本巣市、瑞穂市の受益地内に供給されている。

（１）用水系統　　別紙用水系統図参照

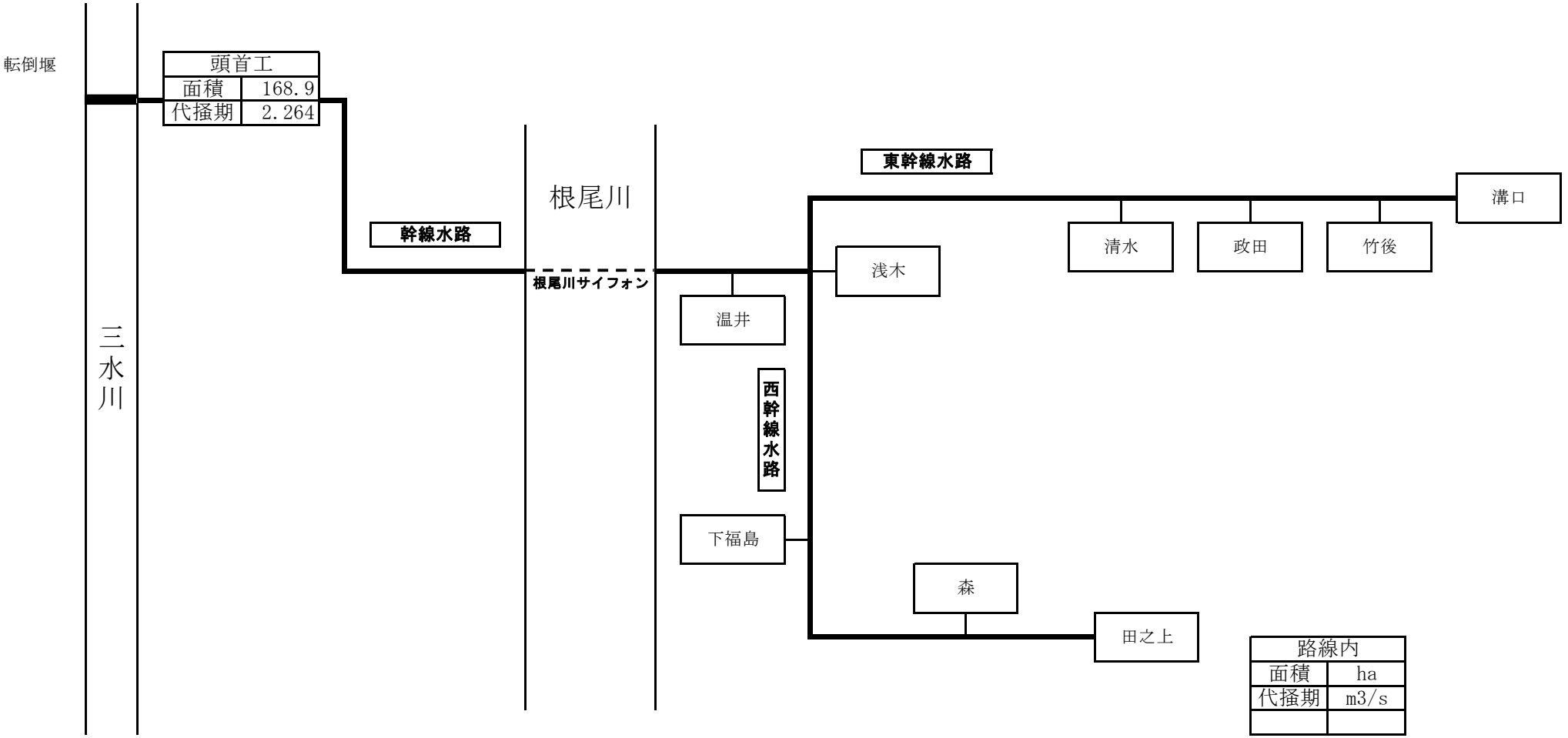
（２）用水施設

（ア）取水方法一覧表　　（第５表－１）

事業名	項目／施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延取水量	備考
		500ha以上		500ha～100ha		100ha未満									
		(箇所)	(ha)	(箇所)	(ha)	(箇所)	(ha)	(箇所)	(ha)	(箇所)	(m^3/s)	(箇所)	(m^3/s)	(m^3/s)	
農業用用排水施設整備	貯水池														
	井堰					1	168.9	1	168.9			1	2.264	2.264	
	自然取入口														
	揚水機														
	その他														
	計					1	168.9	1	168.9			1	2.264	2.264	
	貯水池														
	井堰														
	自然取入口														
	揚水機														
	その他														
	計														
合計						1	168.9	1	168.9			1	2.264	2.264	

注）「施設名」欄は井堰、自然取水口、貯水池、揚水機、その他に区分。「かんがい面積」欄の（）書きは面積の重複するもの。「延取水量」欄は平均取水量の合計。　　面積は不可避受益を含めた面積

現況用水系統図


転倒堰
頭首工
面積 168.9
代掻期 2.264
三水川
幹線水路
根尾川
根尾川サイフォン
東幹線水路
溝口
清水
政田
竹後
浅木
温井
西幹線水路
下福島
森
田之上
路線内
面積 ha
代掻期 m3/s

（イ）改修を要する施設一覧表　　（第５表－２）

事業名	項目／施設名	施設名又は箇所数（箇所）	受益面積（ha）	構造	規模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
農業用用排水施設整備	貯水池							
	井堰	1	168.9	油圧式自動転倒ゲート	B:20.0m×H:9.8m	S46	老朽化	
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路							
	その他							
	計	1	168.9					
	貯水池							
	井堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路							
	その他							
	計							
合計		1	168.9					

注）「施設名」欄は井堰、自然取水口、貯水池、揚水機、その他に区分。用水路の「箇所数」欄は系統数、「規模」欄は末端までの延長（単位m）。　　面積は不可避受益を含めた面積

２．　排水状況　　該当なし

第４節　道路概況　　該当なし

第５節 地域農業の概況

１．　産業別就業人口　　R　6　年　10 月現在　（第７表－１）

項目 / 市町村名	総数（人）	農業（人）	林業（人）	漁業（人）	鉱業 採石業 砂利採取業（人）	建設業（人）	製造業（人）	電気ガス 熱供給 水道業（人）	運輸通信業（人）	卸売業 小売業（人）	金融業 保険業（人）	不動産業 物品賃貸業（人）	サービス業（人）	公務（人）	その他（人）	備考
本巣市	16,013	1,019	42	4	11	1,503	3,304	44	928	2,225	286	155	5,485	568	439	
瑞穂市	27,347	562	9	10	12	2,220	5,762	100	2,168	4,271	707	428	9,418	941	739	
計	43,360	1,581	51	14	23	3,723	9,066	144	3,096	6,496	993	583	14,903	1,509	1,178	
比率（%）	100	4	0	0	0	9	21	0	7	15	2	1	35	3	3	

参考資料：2020国勢調査　令和2年国勢調査　就業状態等基本集計　第10－3表　男女，産業(大分類)，職業(大分類)別就業者数(15歳以上)－全国，都道府県，市区町村

２．　経営耕地広狭別農家数及び主副業別農家数

R　6 年　10 月現在 （第７表－２）

区分 / 市町村名	農家総戸数 (戸)	経営耕地広狭別農家数（戸）											1戸当たり平均農用地面積（ha）						主副業別農家数(戸)			備　考
		0.3 ha 未満	0.3 ～ 0.5	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 1.5	1.5 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 5.0	5.0 ～ 10.0	10.0 ha 以上	20.0 ha 以上	自給的農家	田	畑	樹園地	計	草地	合計	主業	準主業	副業	
本巣市	1,501	130	237	380	104	26	24	9	6	8	10	567	0.82	0.39		1.21		1.21	99	143	661	
瑞穂市	936	41	150	192	48	5	2	1	－	2	2	493	0.72	0.30		1.01		1.01	29	60	350	
計	2,437	171	387	572	152	31	26	10	6	10	12	1,060	1.54	0.69		2.23		2.23	128	203	1,011	
比　率 (%)		7	16	23	6	1	1	0	0	0	0	46	69	31		100		100	10	15	75	

※農家総戸数は、経営耕地広狭別農家数の合計数となる。
参考資料：2020農林業センサス　Ⅲ　農業経営体(個人経営体)　1主副業別経営体数、Ⅵ総農家等　1総農家数、Ⅱ農業経営体(総数)　3経営耕地面積規模別経営体数、
第70次東海農林水産統計年報　Ⅳ耕地の部　2耕地面積(市町村別)

３．　動力農機具及び主要家畜頭数

R　6 年　10 月現在 （第７表－３）

項目 / 市町村名	動力農機具								主要家畜								備　考
	田植機		トラクター		コンバイン				乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏		
	数量 (台)	経営体数 (経営体)	数量 (台)	経営体数 (経営体)	数量 (台)	経営体数 (経営体)	数量 (台)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (100羽)	経営体数 (経営体)	
本巣市	－	－	－	－	－	－			x	1	－	－	x	2	x	2	
瑞穂市	－	－	－	－	－	－			－	－	－	－	－	－	－	－	
計	－	－	－	－	－	－			x	1	－	－	x	2	x	2	
100経営体当数量 (台・頭)	－		－		－				x		－		x		x		
所有経営体数の割合 (%)	－		－		－				0.0		－		0.1		0.1		

※農業用機械を所有している経営体数と所有台数は、2020年農林業センサスより調査項目から削減された
参考資料：2020農林業センサス　Ⅱ農業経営体(総数)　18販売目的の家畜等を飼養している経営体数と飼養頭羽数

４．　　主要作物作付状況　　R 6 年 10 月現在　（第７表－４）

市　町　村　名	本巣市	瑞穂市			計	作付割合	備考
総耕地面積（ha）	1,820	950			2,770		
区分 / 作物名	作付面積 (ha)	作付面積 (ha)	作付面積 (ha)	作付面積 (ha)	作付面積 (ha)	(%)	
水　　稲	664	331			995	36	
小　　麦	155	46			201	9	
大　　豆	34	9			43	2	
計	853	386			1,239	47	

作付面積は、市町村別の面積が掲載されているもののみ記載。

参考資料：第70次 東海農林水産統計年報　Ⅳ耕地の部　2耕地面積(市町村別)、Ⅴ農作物の部　1作付(栽培)面積、収穫量　(2)水稲(市町村別)、(4)麦類(子実用)(市町村別)、(6)大豆(市町村別)

5．　農業の動向　　本巣市　　R 6 年 10 月現在（第７表－５）

項目 / 区分	農家			土地			主要作物			大家畜			動力農機具			その他	地域指定等	備考
		B	A（現在）		B	A（現在）	作物名	B	A（現在）	家畜名	B	A（現在）	農機具名	B	A（現在）			
変化の状況 C 年を 100 とする指数 A R2 B H27 C H22	総農家数	87	67	耕地	99	96	水稲	91	93	乳牛	x	x	動力田植機	80	－		農振計画 H17.7	A：令和2年 2020年 農林業センサス B：平成27年 2015年 農林業センサス C：平成22年 2010年 農林業センサス
	主業農家数	80	65	田	99	95	小麦	121	139	肉牛	－	x	乗用型トラクター	80	－			
	準主業農家数	58	32	畑	99	98	大豆	122	211	豚	98	x	コンバイン	74	－			
	副業的農家数	99	89	樹園地	－	－				採卵鶏	78	x						
	農業就業人口	42	27							ブロイラー	－	－						
変化の理由	・高齢化、後継者不足に加え、他産業への流出発生により減少傾向を示している。※2020年より専兼農家数は、統計調査対象から除外されたため数値無し。			・宅地等への転用、営農リタイアにより減少している。			・転作の推進により、水稲は減少し、小麦、大豆が増加している。			・高齢化、後継者不足に伴い減少している。			農家数の減少に伴い減少している。 ※2020年より統計調査対象から除外されたため数値無し。					

参考資料：　2020農林業センサス　Ⅱ農業経営体(総数)　18販売目的の家畜等を飼養している経営体数と飼養頭羽数、
Ⅲ農業経営体(個人経営体)　1主副業別経営体数、5年齢階層別の基幹的農業従事者数(仕事が主で、主に自営農業に従事した世帯員数)、Ⅵ総農家等　1総農家数
第67次 東海農林水産統計年報　Ⅴ耕地の部　2耕地面積(市町村別)、Ⅵ 農作物の部　1作付(栽培)面積、収穫量　(2)水稲(市町村別)、(4)麦類(子実用)(市町村別)、(6)大豆(市町村別)
2015農林業センサス　Ⅱ農業経営体　14販売目的の家畜等を飼養している経営体数と飼養頭羽数、18農業用機械を所有している経営体数と所有台数、
Ⅲ販売農家　1主副業別農家数、12 年齢別農業就業人口(自営農業に主として従事した世帯員数)、Ⅴ総農家等　1総農家数及び土地持ち非農家数、
第62次 東海農林水産統計年報　Ⅵ耕地の部　2耕地面積(市町村別)、Ⅶ農作物の部　1作付(栽培)面積、収穫量　(2)水稲(市町村別)、(4)麦類(市町村別)、(12)大豆(市町村別)、
2010農林業センサス　Ⅱ農業経営体　12販売目的の家畜等を飼養している経営体数と飼養頭羽数、16農業用機械を所有している経営体数と所有台数、
Ⅳ総農家等　1総農家数及び土地持ち非農家数、Ⅴ販売農家　2主副業別農家数、9年齢別農業従事者数(自営農業に従事した世帯員数)
第57次 東海農林水産統計年報　Ⅳ耕地の部　1耕地面積、Ⅴ農作物の部　1　22年産作付(栽培)面積、収穫量　(1)水稲、麦類、2　22年産作付(栽培)面積、収穫量　(1)大豆

第６節　地域環境の概況

地域の環境は、域内を流下する中小河川および水田、畑の農地、周辺水路といった環境要素により構成される農業農村環境である。

5．　農業の動向　　瑞穂市　　R 6 年 10 月現在（第７表－５）

項目 / 区分	農家			土地			主要作物			大家畜			動力農機具			その他	地域指定等	備考
		B	A（現在）		B	A（現在）	作物名	B	A（現在）	家畜名	B	A（現在）	農機具名	B	A（現在）			
変化の状況 C年を100とする指数 A R2 B H27 C H22	総農家数	86	68	耕地	99	98	水稲	82	84	乳牛	－	－	動力田植機	81	－		農振計画 H17.7	A：令和2年 2020年 農林業センサス B：平成27年 2015年 農林業センサス C：平成22年 2010年 農林業センサス
	主業農家数	52	48	田	99	96	小麦	109	103	肉牛	－	－	乗用型トラクター	83	－			
	準主業農家数	62	30	畑	99	101	大豆	57	29	豚	－	－	コンバイン	80	－			
	副業的農家数	88	71	樹園地	－	－				採卵鶏	－	－						
	農業就業人口	35	19							ブロイラー	－	－						
変化の理由	・高齢化、後継者不足に加え、他産業への流出発生により減少傾向を示している。※2020年より専兼農家数は、統計調査対象から除外されたため数値無し。			・宅地等への転用、営農リタイアにより微減している。畑地は、水稲からの転換により微増している。			・転作の推進により、水稲は減少し、小麦が増加している。			該当無し			農家数の減少に伴い減少している。 ※2020年より統計調査対象から除外されたため数値無し。					

参考資料：　2020農林業センサス　Ⅱ農業経営体(総数)　18販売目的の家畜等を飼養している経営体数と飼養頭羽数、
Ⅲ農業経営体(個人経営体)　1主副業別経営体数、5年齢階層別の基幹的農業従事者数(仕事が主で、主に自営農業に従事した世帯員数)、Ⅵ総農家等　1総農家数
第67次 東海農林水産統計年報　Ⅴ耕地の部　2耕地面積(市町村別)、Ⅵ 農作物の部　1作付(栽培)面積、収穫量　(2)水稲(市町村別)、(4)麦類(子実用)(市町村別)、(6)大豆(市町村別)
2015農林業センサス　Ⅱ農業経営体　14販売目的の家畜等を飼養している経営体数と飼養頭羽数、18農業用機械を所有している経営体数と所有台数、
Ⅲ販売農家　1主副業別農家数、12 年齢別農業就業人口(自営農業に主として従事した世帯員数)、Ⅴ総農家等　1総農家数及び土地持ち非農家数、
第62次 東海農林水産統計年報　Ⅵ耕地の部　2耕地面積(市町村別)、Ⅶ農作物の部　1作付(栽培)面積、収穫量　(2)水稲(市町村別)、(4)麦類(市町村別)、(12)大豆(市町村別)、
2010農林業センサス　Ⅱ農業経営体　12販売目的の家畜等を飼養している経営体数と飼養頭羽数、16農業用機械を所有している経営体数と所有台数、
Ⅳ総農家等　1総農家数及び土地持ち非農家数、Ⅴ販売農家　2主副業別農家数、9年齢別農業従事者数(自営農業に従事した世帯員数)
第57次 東海農林水産統計年報　Ⅳ耕地の部　1耕地面積、Ⅴ農作物の部　1　22年産作付(栽培)面積、収穫量　(1)水稲、麦類、2　22年産作付(栽培)面積、収穫量　(1)大豆

第６節　地域環境の概況

地域の環境は、域内を流下する中小河川および水田、畑の農地、周辺水路といった環境要素により構成される農業農村環境である。

第４章　　一　般　計　画

第１節　事業計画の要旨

１．　要　　旨

取水施設である転倒堰における油圧配管からの油漏れ解消を図るための油圧ユニットの補修を行う。

また、附帯施設である除塵機、各地点のゲートおよびフェンスについて、老朽箇所の補修を実施し、施設の機能回復、安全性確保を図る。

２．　事業別面積　　（第８表）

事業名	農業用用排水施設整備														合計
土地利用区分 / 事業目的	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)		小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)		小計 (ha)	(ha)
用水改良	128.4	9.6					138.0								138.0
計	128.4	9.6					138.0								138.0

注）１．「事業目的」欄は用水改良、排水改良、畑地かんがい、区画整理、暗渠排水、客土、農道等の区分。　　面積は不可避受益を含まない面積

２．「事業名」欄は圃場整備、農道整備、農地防災、農用地開発等事業計画名の区分。

第２節　営農計画及び土地利用計画

１．　営農計画の概要

水稲を中心とした営農を行いながら、麦、大豆、新規需要米などの土地利用型作物の生産を集積の進展にあわせ進めている。また、地域特産品である柿の栽培も行われている。

２．　土地利用区分　　（第９表－１）

事業名	土地利用区分／区分	耕地							採草放牧地	原野	山林	その他	計	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の樹園地 (ha)	小計 (ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農業用用排水施設整備	現　況	128.4	9.6					138.0					138.0	
	計　画	128.4	9.6					138.0					138.0	
	現　況													
	計　画													
	現　況													
	計　画													
	現　況													
	計　画													
計	現　況	128.4	9.6					138.0					138.0	
	計　画	128.4	9.6					138.0					138.0	

面積は不可避受益を含まない面積

３．　作付方式　　該　当　な　し

4．　生産計画　　（第９表－３）

事業名	項目 土地利用区分		作物名	作付面積 (ha) 現況	作付面積 (ha) 計画	作付面積 (ha) 増減	作付率 (%) 現況	作付率 (%) 計画	単位面積当収量 (kg/10a) 現況	単位面積当収量 (kg/10a) 計画	単位面積当収量 (kg/10a) 増減	生産量 (t) 現況	生産量 (t) 計画	生産量 (t) 増減	同左生産量増減の内訳 (t) 面積増減	同左生産量増減の内訳 (t) 単位面積当収量増加	備考
農業用用排水施設整備	水田	表作	水稲	63.9	63.9	－	48	48	463	463	－	295.9	295.9	－	－	－	
			小麦	41.1	41.1	－	32	32	326	326	－	134.0	134.0	－	－	－	
			大豆	0.9	0.9	－	1	1	156	156	－	1.4	1.4	－	－	－	
			飼料用米	7.8	7.8	－	6	6	463	463	－	36.1	36.1	－	－	－	
			加工用米	4.9	4.9	－	4	4	463	463	－	22.7	22.7	－	－	－	
			かき	8.5	8.5	－	7	7	1,124	1,124	－	95.5	95.5	－	－	－	
		裏作															
	普通畑	春夏作															
		秋冬作	かき	3.2	3.2		2	2	1,124	1,124		36.0	36.0				
	計			130.3	130.3	－	100	100				621.6	621.6	－	－	－	
合計				130.3	130.3	－											

注）「作付面積の合計」欄の（）は実面積、外は延べ作付面積。（△は減を示す。）

※作付率は、地元聞き取りによる

※単位面積当収量：第66次～第70次東海農林水産統計年報　本巣市、瑞穂市　水稲、小麦、大豆　かき　収量より算定

第３節　用水計画

１．　計画基準年　　該当無し

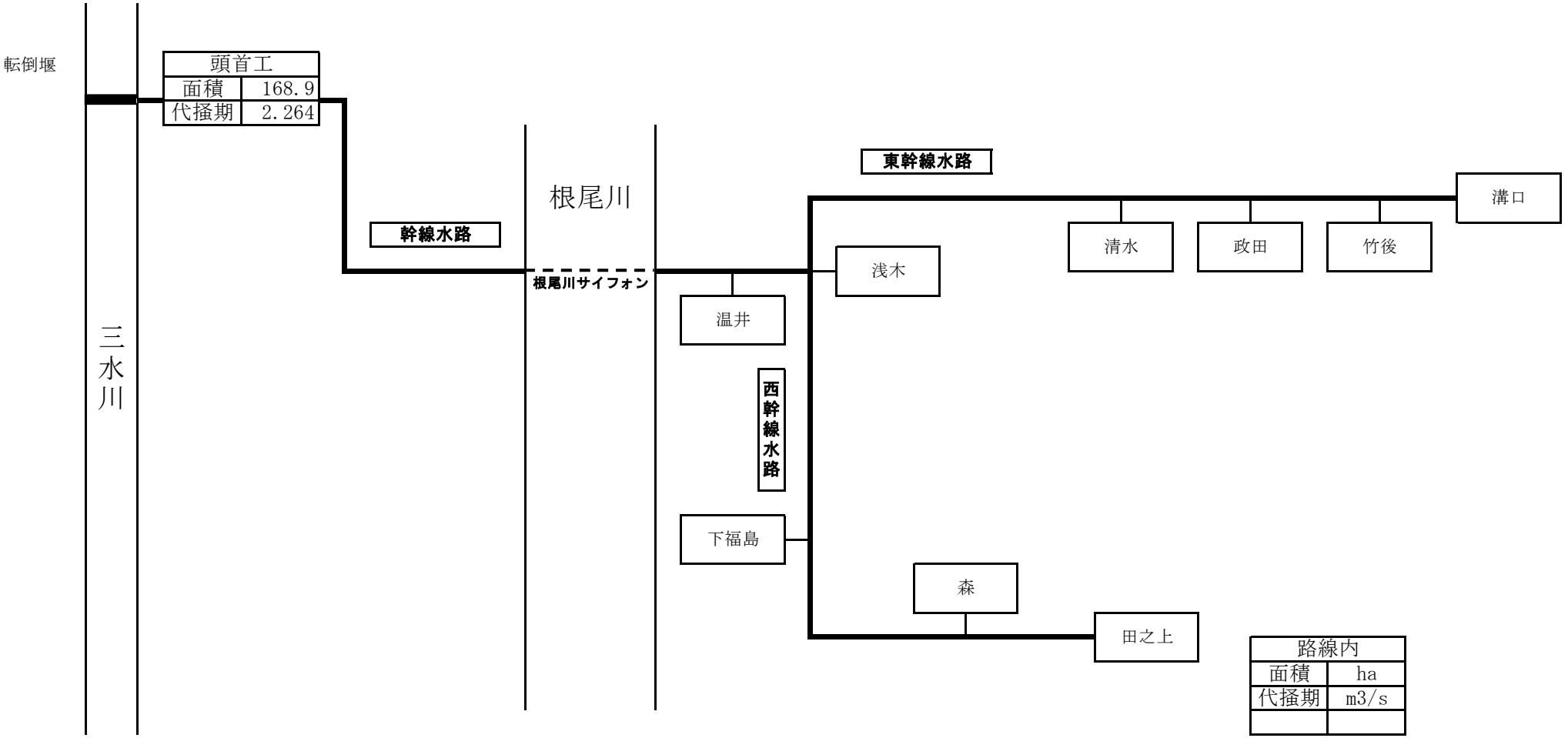
２．　計画かんがい方式　　水田　　湛水かんがい
輪換畑　　畦間かんがい

かんがい期間（水　田）　　該当無し　　（第１０表）

区分 / 期間 / 栽培方式	代掻 自～至	代掻 日数	用水補給 自～至	用水補給 日数	備考
特　早　期	～　月	日	～　月	日	
早　期	月　日～　月　日	日	月　日～　月　日	日	
普　通　期	6 月 20 日～ 6 月 29 日	10 日	6 月 29 日～ 9 月 30 日	94 日	

３．　計画用水系統（別紙計画用水系統図参照）

計画用水系統図


転倒堰
三水川
頭首工
面積 168.9
代掻期 2.264
幹線水路
根尾川
根尾川サイフォン
東幹線水路
溝口
清水
政田
竹後
浅木
温井
西幹線水路
下福島
森
田之上
路線内
面積 ha
代掻期 m3/s

４．　計画用水量

（１）かんがい用水

（第１０表－１－１）

項目 ＼ 系統名	種別	面積 (ha) 事業名			水田かんがい 水田			畑地かんがい 普通畑（樹園地）			田畑輪換 水田かんがい			田畑輪換 輪換畑かんがい			消費水量	損失率	粗用水量	
		農業用用排水施設整備		計	普通期 計画平均単位用水量 (mm/日)	代掻期 計画代掻単位用水量 (mm/日)	面積 (ha)	1日当計画平均かん水深 (mm/日)	平均間断日数 (日)	面積 (ha)	普通期 計画平均単位用水量 (mm/日)	代掻期 計画代掻単位用水量 (mm/日)	面積 (ha)	1日当計画平均かん水深 (mm/日)	平均間断日数 (日)	面積 (ha)			普通期 最大 (m^3/s)	代掻期 最大 (m^3/s)
政田用水	農業用水	168.9		168.9						9.6			159.3				1.924	15		2.264
計		168.9		168.9						9.6			159.3				1.924			2.264

注）１．計画平均単位用水量、計画代掻単位用水量は系統別の減水深の荷重平均値、（）は最大値。
　　２．計画平均かん水深は畑かん期間の１回当りの平均かん水深を平均間断日数で除した値。

補修整備のため、用水計算は、現況で把握されている面積および取水量(代掻用水量)のみを表記
面積は不可避受益を含めた面積

（２）営農飲雑用水　　該　当　な　し

５．　水源計画

（１）水利用計画

（第１０表－２）

項目／区分	消費水量 a (m^3/s)	有効雨量 b (m^3/s)	純用水量 c=a-b (m^3/s)	粗用水量 d=c/(1-α) (m^3/s)	現況利用可能水量 水源名	現況利用可能水量 取水地点利用可能量 e (m^3/s)	現況利用可能水量 ほ場利用可能量 f (m^3/s)	不足量 純不足水量 g=c-f (m^3/s)	不足量 全不足水量 h=d-e (m^3/s)	水源依存量 水源名	水源依存量 水量 (m^3/s)	水源工種	備考 損失率：α
農業用用排水施設整備	1.924	－	1.924	2.264	三水川	2.264	1.924	－	－		2.264		15%
計	1.924	－	1.924	2.264		2.264	1.924	－	－		2.264		

注）１．「区分」欄は農業用用排水、区画整理、農用地造成等の分類。及び水田補水，畑かん等に細分。

２．純用水量、田畑面利用可能量、純不足水量には損失を含まず、全不足水量には水路損失を含む。

（２）用水対策

（ア）貯水池　　該当なし

（イ）井堰及び自然取入口　　該当なし

（第１０表－４）

取水施設名＼項目	河川名	流域面積 (km^2)	かんがい面積 (ha) 事業名 農業用用排水	事業名	計	取水量 最大 (m^3/s)	取水量 平均 (m^3/s)	渇水量 (m^3/s)	備考
政田頭首工	三水川	19.3	168.9		168.9	2.264			油圧ユニット補修
計			168.9		168.9	2.264			

注）１．「取水施設名」欄は井堰、自然取入の分類。備考欄はその型式。

２．「取水量の平均」欄は普通期の平均。「渇水量」欄は計画基準年。

面積は不可避受益を含めた面積

（ウ）揚水機　　該当なし

（エ）用水路　　該　当　な　し

（オ）その他のかんがい施設

除塵機補修	1 基
ゲート補修	14 基（　　22 門 ）
ネットフェンス補修	1,080 m

（３）水温水質（改良後の状況）　　該　当　な　し

第４節　排水計画　　該　当　な　し

第５章　　主要工事計画

第１節　用水施設

１．　貯水池　　該　当　な　し

２．　頭首工

（第１７表－２）

					位　置	大野町　相羽　地内				
名　称	型　式	堤　高 (m)	堤　長 (m)			取水位 (m)	取水量 (m^3/s)	付帯施設	備　考	
			固定部	可動部	計					
政田頭首工	油圧式自動転倒ゲート	2.98	-	20.0	20.0		2.264		油圧ユニット補修	

注）１．「堤高」欄は堤体底面から堤頂までの高さ、下段（）は堤頂標高。
　　２．「取水位」欄は取水水門直上水位、「取水量」欄は期間最大値。
　　３．「付帯施設」欄は土砂吐、取水水門（取水門のみの場合の「堤長」欄は「構造」。）

３．　揚水機　　該　当　な　し

４．　用水路　　該　当　な　し

５．　その他かんがい施設

除塵機補修　　1 基
ゲート補修　　14 基（　22　　門）
ネットフェンス補修　　1,080 m

第２節　排水施設　　該　当　な　し

第６章　　附帯工事計画

該　当　な　し

第７章　　工事の着手及び完了の予定時期

1.　工期

着工予定　　令和　7　年度　　完了予定　　令和 11 年度

2．　工事の年度割予定

単位：千円

年　　度	全　　体	R7	R8	R9	R10	R11				
農業用用排水	245,000	17,000	92,000	49,000	48,000	39,000				
割合（%）	100	6	38	20	20	16				

第８章　　環境との調和への配慮

1.　施工上の配慮

・下流水域への底泥流出を抑制するため、必要に応じシルトフェンスなどを設置する。
・締め切り内に残存した魚類等の生物が確認される場合は、必要に応じて避難を実施する。

2.　田園環境整備マスタープランとの整合性

事業実施に際しては、田園環境整備マスタープランにおける環境配慮の方向性に則して行うものとし、計画段階からマスタープラン内容を反映させ、環境に配慮した事業を行う。

第９章　　換地計画の概要

該　当　な　し

第１０章　　事業費の総額及び内訳

事業費の総額

千円

263,655

工　事　費

千円

245,000

工雑及び
地方事務費

千円

18,655

（第２６表）

工　　種	事　業　量	事　業　費 （千円）		備　　考
農業用用排水施設整備	1　式			
工　事　費		228,000		
測　量　試　験　費		17,000		
用　地　補　償　費		-		
小　　計		245,000		
工　事　雑　費		6,100		
地　方　事　務　費		12,555		
合　　計		263,655		

第１１章　　効　　用

（第２７表）

区分 / 効果項目	農業用用排水施設整備				
	年総効果額（千円）	年総増加所得額（千円）	年総効果額（千円）	年総増加所得額（千円）	
食料の安定供給の確保に関する効果	47,501	52,555			
農業の持続的発展に関する効果	－	－			
農村の振興に関する効果	－	－			
多面的機能の発揮に関する効果	－	－			
その他効果	11,135	－			
計	58,636	52,555			令和6年度単価
総費用	952,916				
総便益額	1,214,930				
総費用総便益比	1.27				
総所得償還率	3.6				
増加所得償還率	2.1				

第１２章　　関連する事業

該当なし

第１３章　　現況・計画図面

別紙による